

大安寺のタブ林

伊藤 邦男

1. 史跡としての大安寺

佐渡金山は、近世におけるわが国の金銀山として知られ、その開発は、慶長初期にさかのぼる。江戸時代を通じて幕府直営のもとに開発され、幕府の重要な財源であった。鉾山の町相川には 400年の消長を語る史跡が多いが、相川町には国指定文化財の史跡「相川金山遺跡」がある。この大安寺にも国指定の史跡が2つある。ひとつは境内内にある「河村彦左エ門供養塔」である。河村彦左エ門は上杉景勝家臣で佐渡代官、鶴子銀山の経営者。上杉の国替後も佐渡にとどまり、佐渡鉾山発見後はその開発につとめた初代の佐渡奉行。もうひとつは、大安寺境内にある「大久保長安逆修塔（げきしゅうとう）」。大久保長安は甲斐、相模の鉾山開発に業績があり、慶長 8年（1603）より10年間佐渡奉行として相川鉾山の開発につくし、慶長、元和の最盛期を現出し功績を残した。

相川は北側と南側に2つの沢があり、それぞれ北沢と南沢とよばれるが、大安寺は南沢の入口の江戸沢に位置する大久保長安創建の史跡の寺である。

〔文献〕：新潟県の文化財・新潟県教育委員会（1971）。

2. 文化財・重要植物群落としての大安寺のタブ林

大安寺のタブ林は、相川町指定の天然記念物である。名称は「タブの木群落」。指定年月日は昭和49年 8月 1日。所有・管理者は大安寺。

「大安寺の石の階段を登りかけると、北側一帯というより境内の殆ど大部分を覆って高くそびえる常緑広葉の樹がタブである」と解説される。

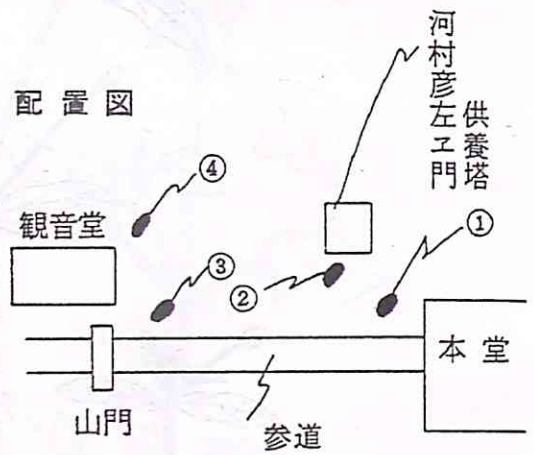
また名称「大安寺のタブ林」は、昭和53年（1978）選定の新潟県の特定（重要）植物群落である。「南沢の入口にある大安寺はタブの寺林である。高木層のタブノキは樹高20～25 m、胸高直径50cm以上の大木である。また樹高20mのケヤキが混生する。亜高木層にはモチノキ、ヤブツバキ、シロダモなどで、低木層はヤブツバキ、林縁にはヤダケが多い。林内は暗く、林床にはほとんど植物はなく、わずかにヤブツバキ、タブノキ、ツタ、ケヤキの芽生えがみられるだけである」と報告書（1978）に、植生調査表付きで解説される。

〔文献〕：佐渡植物誌：佐渡の植物刊行会（1987）



相川町江戸沢・大安寺のタブ林・一年中こんもりと繁っている

配置図



3. 緑地環境保全地域候補地としての大安寺のタブ林

(1) 大安寺のタブ林調査

タブ林は樹高20m。高木層はタブノキが独占（胸高幹径は17~78cm・最大78cm・平均41.4cm）、ケヤキが混生する。亜高木層は8mでヤブツバキが優占、モチノキ、シロダモが混生する。林床の低木層の植被率5%と低く、

ヤブツバキ、マサキ、タブノキが生育する。草本層は、タブノキ、ヤブツバキ、シロダモが芽生え、ベニシダが生育するが植被率は3%と極めてすくない。林床暗くその植被率が低いのはタブノキの極相林の特徴である。

表 1. 相川町江戸沢町大安寺のタブ林

階層	優占種	高さ	植被率	種数	環境
高木層 B1	タブノキ	20m	100%	2	大安寺寺林 海拔25m
亜高木層 B2	ヤブツバキ	8m	70%	3	方位・傾斜 SE・30°
低木層 S	ヤブツバキ	1~2m	5%	3	調査面積 10×20m ²
草本層 K	タブノキ	0.2m	3%	4	出現種数 7種

- B1 タブノキ（幹径30~78cm）5・5、ケヤキ1・1
 B2 ヤブツバキ（径7~27cm）3・3、モチノキ1・1、シロダモ1・1
 S ヤブツバキ+、マサキ+、タブノキ+
 K タブノキ+2、ヤブツバキ+2、ベニシダ+、シロダモ+

林縁 オニヤブソテツ、トラノオシダ、キツタ、ヤダケ、ヤツデ、ヤブラン、ツルニチニチソウ

1987年11月19日・調査者 伊藤 邦男

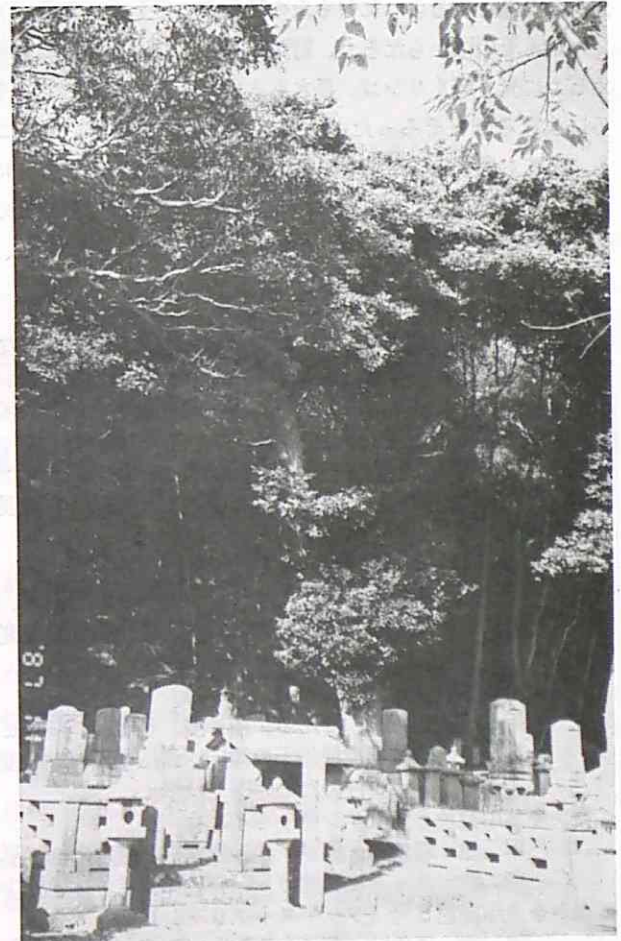
(2) タブ林にふくまれる主要樹の毎木調査

(数字は胸高幹径cm)

- A. タブ : 40・78・51・20・17・35・30・60・73・28・21・59・25・43cm
 (17~78cm・最大幹径78cm・平均幹径41.4cm)
 B. ケヤキ : 61・77・73・75cm
 (61~77cm・最大幹径77cm・平均幹径71.5cm)
 C. シロダモ : 15・21・25・13cm
 (13~25cm・最大幹径25cm・平均幹径18.5cm)
 D. ツバキ : 12・7・15・15・15・19・27・18・13・16・30・13・13・17cm
 (7~27cm・最大幹径27cm・平均幹径16.4cm)
 E. モチノキ : 12・18・19・33・25・25・31cm
 (12~33cm・最大幹径33cm・平均幹径23.3cm)

(3) タブ林の林縁にあるタブノキの単立木調査

No	根元径	胸高径	幹周	樹高
A	104cm	73cm	245cm	20cm
B	120	104	296	18
C	98	69	230	16
D	110	64	195	18



大安寺のタブ林 (写真 伊藤邦男)

4. 指定理由

大安寺は、相川町江戸沢に位置し、相川の市街地に接する寺で、その境内は東西88m、南北90m、概略面積7,600m²。その境内の北西側のタブ林の極相林として、町文化財および県特定植物群落に指定されている。また境内の佐渡奉行の供養塔と逆修塔は国指定の史跡「相川金山遺跡」

でもある。本地域は歴史的資産と植物的資産が一体となっていて、市街地に接した緑地環境保全地域として最適である。

[『佐渡植物風土記』(1990)より転載]

(いとうくにお 新潟県自然環境保全審議会専門調査員
 〒952-12 新潟県佐渡郡 金井町千種 106-3)